

社会資本総合整備計画（地域活力基盤創造計画） 事後評価書

平成29年10月6日

計画の名称	5. 海老名市地域活力基盤創造計画														
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度（5年間）					交付対象		海老名市							
計画の目標															
さがみ縦貫道海老名IC開通により国道へのアクセスが格段に向上することを踏まえ、増大する交通量に対応すべく、海老名市内の道路整備、改修等の実施と増大する交通量の生活道路への流入に対し安全性を高めるため、地域生活道路の改良、歩道整備、環境、安全性向上対策等を実施し、さらに海老名IC開通の効果を最大限活かし地域の活力を向上させるための公共交通連携機能・緊急時対応能力向上、企業誘致等の施策を実施し、もって海老名市域の活性化を図る。															
計画の成果目標（定量的指標）															
① 海老名市総人口を平成20年4月と比較し、約2％増加 ② 海老名運動公園と最寄鉄道駅（JR社家駅）を結ぶ路線の歩道整備率を、平成20年4月時点の9％から平成25年度末までに100％とする。															
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考			
									当初現況値	中間目標値	最終目標値				
① 海老名市人口統計により計画終了後の人口増加を確認する。基準日は平成26年4月1日とする。 目標達成人口 ＝ 平成20年4月総人口 × 1.02									126,185人	－	128,708人	2％≒2,524人の増加			
② 海老名運動公園から最寄鉄道駅までの歩道整備率を確認する。 歩道整備率 ＝ 歩道整備延長 ÷ 歩道整備予定延長									9%	－	100%				
全体事業費	合計 (A+B+C)		1,498百万円	A	1,298百万円	B	0百万円	C	200百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	13.35%				
事後評価															
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制 海老名市建設部道路整備課にて評価を実施								事後評価の実施時期 平成28年度 公表の方法 市のホームページに掲載予定							
1. 交付対象事業の進捗状況															
A 地方道路整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
5-A1	道路	一般	海老名市	直接	－	市道457号線拡幅改良事業	生活道路整備 L＝126m	海老名市						9	
5-A2	道路	一般	海老名市	直接	－	市道61号線（相模国分1号踏切）改良事業	踏切内カラー舗装 L＝5.5m	海老名市						2	
5-A3	道路	一般	海老名市	直接	－	市道11号線交差点改良事業	交差点改良 L＝40m	海老名市						16	
5-A4	道路	一般	海老名市	直接	－	市道2161号線整備事業	車道、歩道整備 L＝350m	海老名市						356	安全確保
5-A6	道路	一般	海老名市	直接	－	市道624号線歩道整備事業	歩道整備 L＝200m	海老名市						50	
5-A7	道路	一般	海老名市	直接	－	横須賀水道路整備事業	歩車道整備 L＝380m	海老名市						58	
5-A9	道路	一般	海老名市	直接	－	市道63号線歩道整備事業	歩車道整備 L＝340m	海老名市						30	
5-A10	道路	一般	海老名市	直接	－	市道23号線歩道整備事業	歩車道整備 L＝540m	海老名市						78	
5-A11	道路	一般	海老名市	直接	－	市道2197号線他4路線道路再整備事業	舗装補修 L＝2,720m	海老名市						47	
5-A12	道路	一般	海老名市	直接	－	市道1号線道路再整備事業	舗装補修 L＝1,950m	海老名市						63	
5-A13	道路	一般	海老名市	直接	－	社家駅周辺整備事業	駅前広場等整備	海老名市						2	
5-A14	道路	一般	海老名市	直接	－	市道海老名駅大谷線道路再整備事業	舗装補修 L＝980m	海老名市						96	
5-A15	道路	一般	海老名市	直接	－	市道1号線歩道整備事業	歩道整備 L＝80m	海老名市						16	
5-A17	道路	一般	海老名市	直接	－	市道16号あゆみ橋	耐震補強等 N＝1橋	海老名市						217	
5-A18	道路	一般	海老名市	直接	－	市道738号線歩道整備事業	歩道整備 L＝270m	海老名市						88	
5-A19	道路	一般	海老名市	直接	－	市道8号線交差点改良事業	交差点改良 L＝400m	海老名市						170	
合計														1,298	

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
									合計					0	
C 効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
5-C1	調査	一般	海老名市	直接	—	橋梁長寿命化調査	主要道路にかかる橋梁 32橋	海老名市						3	
5-C2	計画	一般	海老名市	直接	—	橋梁長寿命化計画作成	主要道路にかかる橋梁 32橋	海老名市						4	
5-C3	再整備	一般	海老名市	直接	—	防犯灯再整備事業	防犯灯のグレードアップ切り替え	海老名市						14	
5-C4	交通連携	一般	海老名市	直接	—	空港リムジンバス発着施設整備事業	バスベイ整備	海老名市						6	
5-C5	社会実験	一般	海老名市	直接	—	コミュニティバス(大谷・南部ルート)の試験運行	公共交通不便地域対策	海老名市						84	
5-C6	車両購入	一般	海老名市	直接	—	救急車購入	救急車購入（2台）	海老名市						79	
5-C8	調査	一般	海老名市	直接	—	企業誘致活動	I C開設に伴う企業誘致のための調査委託	海老名市						10	
									合計					200	
番号	一體的に実施することにより期待される効果														備考
5-C1	幹線道路の再整備及び生活道路改良事業に合わせ、橋梁長寿命化のための維持管理計画を作成し、橋梁の維持管理を適性に行うことで、道路交通のアクセス性と安全性の向上が図れる。														
5-C2	幹線道路の再整備及び生活道路改良事業に合わせ、橋梁長寿命化のための維持管理計画を作成し、橋梁の維持管理を適性に行うことで、道路交通のアクセス性と安全性の向上が図れる。														
5-C3	生活道路及び歩道整備事業による安全安心の向上に合わせ、防犯灯の照度アップを行い地域全体の生活環境向上が図れる。														
5-C4	市内道路改良事業等によりさがみ縦貫道へのアクセス向上を図るとともに、空港へのダイレクトアクセスを実現し、海老名ICの効果的利用を図る。														
5-C5	幹線道路の再整備及び道路改良事業による市内道路環境の充実に合わせ、交通過疎地域の改善を目的とした社会実験を行なう。														
5-C6	海老名 I C開設により新たに管轄区域になる東名高速道路内の事故対応に備え、救急車両の性能向上を図ることにより、安全・安心の向上を図る。														
5-C8	工業系特定保留区域2箇所のまちづくり手法を検討するための要素のひとつとして、調査委託を実施し、企業誘致をおこなうことにより、産業用地の基盤整備を図る。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		・道路改良事業により市内道路環境の充実が図られたのに併せ、生活道路及び歩道整備等を行った結果、地域全体の生活環境の向上と、歩行者、自転車及び自動車などの道路利用者の安全性が向上した。 ・市道2161号線整備・社家駅周辺整備で歩道整備が行われた結果、利用者の安全性、利便性の向上に繋がった。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	128,708人	目標値と実績値に差が出た要因	・市内道路改良により道路環境の充実が図られ、交通アクセスが向上したことや、生活道路及び歩道整備を行ったことによって、生活環境の向上が図られ、目標とした人口増2%（2,524人増）を上回る2.38%（3,008人増）結果となった。
		最終実績値	129,193人		
	指標②	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	・市道2161号線整備・社家駅周辺整備により歩道整備を図り、海老名運動公園と最寄鉄道駅（JR社家駅）区間の歩道が完了し目標値を達成した。
		最終実績値	100%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		・生活道路及び歩道整備事業等に合せた防犯灯再整備事業により、LED照明へ切り替えを行い照度がアップした結果、夜間の安全性が向上し地域全体の生活環境の向上が図られた。 ・地域活力の向上を図るため、市内道路改良事業と合わせ、空港リムジンバス発着施設整備事業を実施し、海老名市民及び海老名市への来訪者の利便性向上と、海老名ICの効果的利用が図られた。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
地域の課題を的確にとらえて社会資本整備計画に組み込み、社会基盤整備の推進を図ります。					

(参考様式3) (参考図面) 社会資本総合整備計画書(地域活力基盤創造計画) 事後評価書

